瑞穂中学校だより

【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成】

令和7年2月17日（月） NO. 27 文責：校長 柏原 哲郎
HP アドレス https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

消費者被害に遭わないために

先日1／30（木）に、2年生の技術・家庭科（家庭分野）の授業において「なくならない消費者被害」をテーマに消費者被害の予防方法や対策を考え、理解する授業（研究授業）を行いました。授業は本校家庭科担当：宮脇教諭と雲仙市消費生活センター相談員：林 由美子さん、島村八重子さんが協力して進めていきました。授業の前段では、マルチ商法の勧誘の様子を勧誘者・被害者（友達同士）とマルチ業者の担当者の三者をそれぞれ馬場陸斗さん、山本有紗さん、宮崎勇虎さんが演じ、寸劇で紹介してくれました。とても上手な演技でした。その後、次の事を考えながら授業は進んでいきました。

①寸劇から怪しい（騙されている）箇所を見つける。
②マルチ商法の問題点を知る。

ここでは、林さんから専門的な内容を、生徒にとっても分かり易く、詳しい説明がありました。さらに、「怪しい」「おかしい」と気づくことが大切であると共に、人間関係（今回の場合、友だち関係）が壊れてしまう可能性が高くなるとのことでした。

③被害者はどのタイミングでどうすれば良かったのかを考える。
④もし、契約してしまったら、どうすれば良いのか考える。

林さんからは、決して一人で悩まず、まずは消費生活センターに相談することが大切であること。そのための消費生活センターの役割や支える仕組みの説明がありました。

全体のまとめとして、批判的意識（本当かな？ ：クリティカルシンキング）を持つこと。そして、「気づく、断る、相談する」の3点を大切にすることが大事であることを確認しました。

現在、マルチ商法をはじめとして様々なネーミングの詐欺商法があり、被害も拡大するばかりのようです。また、中学生も関与する闇バイトの低年齢化もあります。そういったこともあり、今回の授業が、これからを生きる生徒にとってより良き人生を歩むために役立ってくれるものと願っています。

活躍は続く

令和7年に入っても生徒たちはそれぞれの立場でしっかり頑張っています。紹介します。

〇2025ニューイヤー第28回鹿島中学生サッカーフェスティバル 準優勝 瑞穂・国見クラブ
〇雲仙市中学生ソフトテニス春季大会
個人戦 第3位 川井 結愛・宮崎 いろはペア（県大会出場） ※男女とも個人戦県大会は
第4位 坂口 翔太・森瀬 凜人ペア（県大会出場） 3／2（日）長崎かきどまり庭球場
団体戦 準優勝 瑞穂中学校 男子 ※県大会はありません

◎県中総体新人大会

男子バレー部（VC雲仙） 対 東部中（対馬市） 2−0 勝利 対 川棚中（東彼杵） 0−2 敗退
サッカー部（瑞穂・国見クラブ） 対 平戸中・南部中・生月中（平戸市） 3−1 勝利
対 西諫早中（諫早市） 2−3 敗退

〇2年生　宮崎　美羽さんが所属するソフトボールクラブ「諫早シャイニングガールズ」が昨年11月に行われた「全九州中学生女子選抜大会県予選」において優勝し、今週末の2／22（土）・23（日）に大分県竹田市で開催される九州大会に出場します。本人もレギュラー（ファースト）として頑張っているとのことです。活躍を期待しています。※期日が迫りましたので再掲載しました。

雲仙市学力調査結果から

昨年12月12日（木）に1、2年生を対象に実施された雲仙市学力調査（国・数・英）の結果が下記のように出ました。本校の結果については、具体的な数値は紹介できませんが、本校の正答率と全国の正答率及び市の正答率とを比較（本校の正答率が上なら＋、下なら－、同程度なら≒）した形で下表にて紹介します。

【第1学年】

	国　　語	比 較	数　　学	比 較	英　　語	比 較
全　国	59.9	－	56.2	≒	56.8	－
雲仙市	59.7	－	54.6	＋	48.5	≒

【第2学年】

	国　　語	比 較	数　　学	比 較	英　　語	比 較
全　国	58.0	－	49.6	－	52.1	－
雲仙市	58.4	－	48.2	－	43.0	－

1年生については、国語科で「－」がありますが、大きな差ではありません。全体的に概ね良く頑張っていると考えています。この学力の維持、向上がとても大切であると考えています。

2年生については、国語科は全国の正答率及び市の正答率に及びませんでしたが、経年比較では若干向上しています。数学、英語は引き続き課題が残りました。

学校では全教職員で各教科の「基礎・活用」「領域」「観点」「問題の内容」の課題を共有し、該当教科だけではなく、教科横断的な視点から全教科の今後の指導法（授業）改善に取り組んでいきます。

また、個人成績については個票がありますので、各学年で適時配布され、今後の学習に活かすための指導があります。期末テストも終わり、その結果をもとにした事後指導（やり直し指導、再テスト等）もなされています。時には昼休み、放課後にも及びます。1、2年生は3学期始めに実力テスト（業者テスト）を実施しました。その結果も届きましたので、それをもとにした指導も各教科等でなされます。学力向上は一朝一夕にはいかない難しい課題ですが、先のような指導法（授業）改善や指導を重ねながら何とか「学力という貯金（学力貯金）」をたくさん貯められるように学校としても頑張っていきます。その効果を最大に高めるためには生徒本人の自覚と各ご家庭の協力が必要です。特に帰宅後の我が子の生活習慣の在り方、家庭学習のあり方等、今一度見つめ直し、改善の余地があれば是非改善に向けて言葉かけ等をお願いします。「全ては生徒のために、我が子のために」という思いを1つにして、「学力貯金」をたくさん貯めて、生徒の、我が子の進路選択の幅を広げましょう。

3年生は明日からいよいよ入試本番を迎えます。本校からは24名の生徒が臨みます。是非、これまで貯めた「学力貯金」を活かして合格を勝ち取ってほしいと願っています。ただ、各志望高校の多くが定員割れで入試倍率が1倍を切っていることから、生徒（場合によっては保護者も）の中には、心の中で「もう大丈夫」という気持ちが起きていないか心配です。4月からのスタートを考えると、「合格すればそれで良し」ではなく、どの位置で合格できたかも重要です。目先だけではなく、その後も見据え頑張ってほしいと願っています。頑張れ受験生！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！